

請 願 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 1 3 0	受 理 年 月 日	令 和 4 年 9 月 15 日
件 名	小学校のような全員制の中学校給食の実施		
要 旨	<p>2020年の財務省統計局の発表によると、京都市の人口は1年間で8,982人減少しており、全国の市町村の中で最も人口が減った自治体となった。とりわけ子育て世代の流出が深刻である。子育て世代が流出する自治体は、子育て支援策の後れが目立つと指摘されている。京都市の後れている子育て施策の一つが中学校給食である。</p> <p>物価高が押し寄せ、更なる暮らしを圧迫する事態が起きている。全員制の給食は全ての子供の食のセーフティネットとなる。何より給食は教育の一環である。選択制では給食を通じての食教育は行えない。</p> <p>全国では、中学校でも小学校のような全員制の給食が当たり前である。西日本の政令指定都市の中で、京都市と同じように給食が選択制なのは、堺市、神戸市、広島市だが、神戸市は2024年、堺市は2025年、広島市は2026年に全員制に移行する。これで、西日本の政令指定都市の中で選択制なのは京都市だけになる。京都府内の中でも、宇治市が2024年、亀岡市も2028年に全員制の中学校給食を実施する。現在、京都市は施設一体型の小中一貫校だけで全員制の中学校給食を実施しているが、全ての中学校で小学校のような全員制の中学校給食を実施していただきたい。先日、京都市長宛ての要望署名7,304筆を京都市教育委員会に提出した。</p> <p>ついては、全ての中学校で小学校のような全員制の給食を実施することを願う。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	くらた共子、河合ようこ、鈴木とよこ、ほり 信子		
付 託 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		